

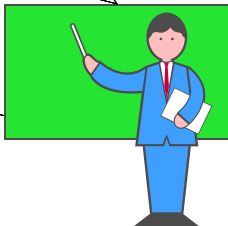
《高知缶詰の安全への取り組み》

Ver.1

農薬の使用状況など収穫までの一連の栽培履歴を調査したものです。調査は公の機関である韓国農林食品輸出入組合が実施し、報告書として取得します。

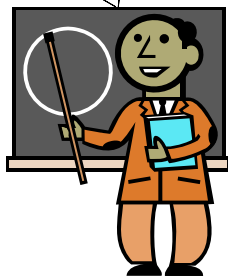
残留農薬について502項目にわたって検査し、検査結果を証明書として取得します。

収穫期に産地で収穫・選果状況を確認します。



当社規定の方法で管理しております。

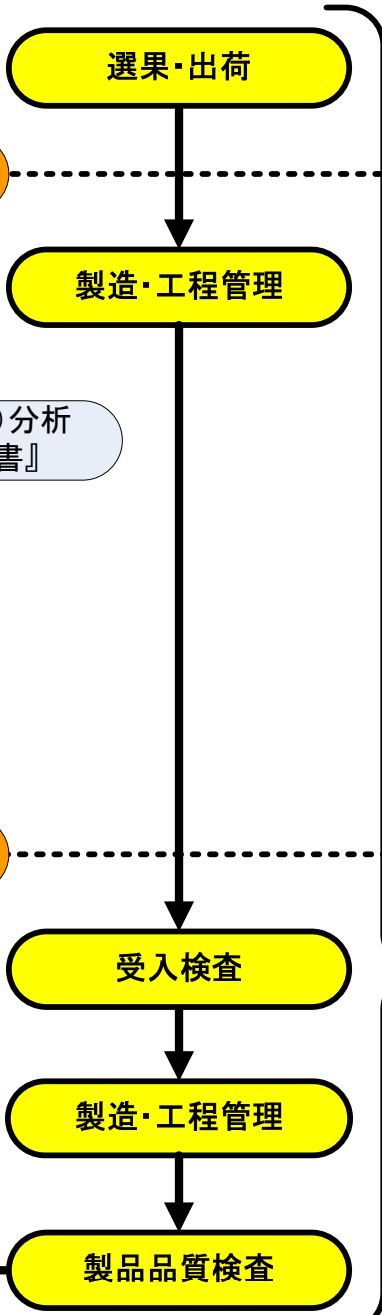
今回は《剥き栗》として再度、502項目にわたって残留農薬の検査をします。



この原料出荷から製品までの一連の加工の流れ・履歴を遡って確認可能な『ロットレサビリティ体制』を当社、商社、中国協力工場、韓国原料産地農協にて共同運営しております。



- 『栽培履歴』
- 『(残留農薬)分析結果証明書』
- 当社現地調査

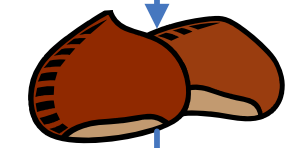


中国・検疫

『(残留農薬)分析結果証明書』

日本・検疫

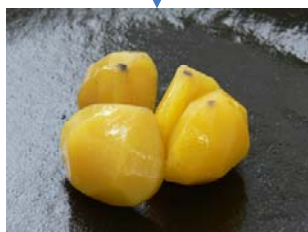
【韓国】
原料産地
(山清、公州)



【中国】
当社協力工場



【日本】
当社



このような流れを経ておいしい栗甘露煮がやっと完成します。